



プラナス BOLT スリップオンマフラー 組付・取扱説明書

適応機種
YAMAHA BOLT (A) /R (A) (2014 年～)
(型式: EBL-VN04J)

この度は、当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。製品の取り付けに関しましては、この取扱説明書をよくお読みいただき、作業を行ってください。一度最後までこの取扱説明書をお読みいただきご理解いただいてから作業されることをお勧めします。また、作業前に各付属部品がそろっているかご確認ください。製品の取り付けには、純正部品も使用しますので、取り外した各部品を紛失しないように保管してください。製品の品質には万全を期しておりますが、万一お気づきの点がございましたらお買い求めの販売店にご相談ください。なお、製品の仕様・価格・取扱説明書等に記載された内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

製品内容

No	部品名	数量
1	サイレンサー	1
2	取扱説明書、排ガス検査成績書	1
3	サイレンサープロテクター	1
4	六角穴付きボルト (M6X10)	2
5	ボルト用ガスケット	2
6	ガスケット (挿入済)	1

取り付け方法

- 02 センサーのカプラーを取り外します
- 純正サイレンサーを取り外します。(ボルト2ヵ所、バンド1ヵ所)
- 02 センサーを純正サイレンサーから取り外し①サイレンサーに取り付けます。[規定トルク: 45Nm (4.5kgfm)]
- ①サイレンサーをエキゾーストパイプに差し込み、サイレンサーを純正ステーに仮り組みします。
※ガスケットが奥まで挿入されていることを確認してください
- サイレンサー取り付けボルトを本締めします。
[規定トルク: M10 ボルト 53Nm (5.3kgfm)]
- エキゾーストパイプとサイレンサーを締め付けるバンドを本締めします
[規定トルク: M8 ボルト 40Nm (4.0kgfm)]
- 純正マフラーからプロテクターを外しサイレンサーに装着します
※必ずプロテクターを取り付けてください

- 02 センサーカプラーを取り付けます
- ③サイレンサープロテクターと③サイレンサーの間に⑤ガスケットを挿入し④六角穴付きボルトにてプロテクターを装着します
- サイレンサーに付いた油分等のよごれを完全に拭き取ってからエンジンを始動し、排気漏れ等がないか確認してください。よごれが付着したままエンジン始動すると焼けムが起きます。エンジン始動後しばらくは、ウール・油分等が焼けて煙が出る場合がありますが、異常ではありません。

※ 本製品には耐熱艶消し塗装がしてあります

艶消し塗料の為傷が大変つきやすくなっています取り付け時の扱いにはご注意ください
エンジン始動後しばらくは塗料の焼きつく臭いや煙が発生しますが異常ではありません



VIA

H680306 - 1/5



JAPAN VEHICLE INSPECTION ASSOCIATION

平成 26 年 7 月 24 日

自動車排出ガス試験結果証明書

一般社団法人 全国二輪車用品連合会
(サクラ工業株式会社)

殿

一般財団法人 日本 車 両 検 査 会
東京



自動車車名・型式

ヤマハ・EBL-VN04J

自動車車台番号(又はシリアル番号)

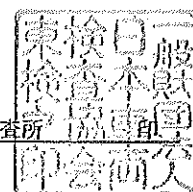
VN04J-002134

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

二輪自動車排出ガス試験結果成績表(WMTCモード)

試験期日 H26.7.23

試験機関名 (一財)日本車両検査協会 東京検査所



◎試験二輪自動車

車名・型式(類別)	ヤマハ・EBL-VN04J	原動機型式	N605E	最高出力	38/5500	kW/min ⁻¹	車両クラス	3-2
車台番号	VN04J-002134	サイクル	4	気筒	2	総排気量	0.941	L
走行キロ数	84	km	変速機	足動 前進 5 段	減速比	2.333	車両重量	251 kg
使用燃料	無鉛ガソリン	密度	—	g/cm ³	(温度	— K)	最高速度	140以上 km/h
等価慣性重量(設定値)	330	kg	駆動輪のタイヤ空気圧	250	kPa			

◎試験成績書

○タイプⅠ(モード測定)

排出ガス成分	パート1(又は低速パート1) 低温	パート1(又は低速パート1、 パート2、低速パート2) 高温	パート3(又は低速パート3) 高温	排出量
CO(NDIR)	1.906 g/km	0.508 g/km	0.508 g/km	0.858 g/km
HC(FID)	0.387 g/km	0.122 g/km	0.067 g/km	0.175 g/km
NO _x (CLD)	0.068 g/km	0.046 g/km	0.128 g/km	0.072 g/km
CO ₂ (NDIR)	119.7 g/km	75.4 g/km	80.0 g/km	87.6 g/km

○タイプⅡ(アイドリング測定)

濃 度	
CO	HC
0.0 %	33 ppm

◎排出ガス対策装置

排出ガス対策装置	種 類 (個数)	三元触媒 (1)	酸化触媒 ()	E G R ()	エアポンプ ()	リード'ハルフ' ()	O ₂ センサー (1)
	製作者名	サクラ工業(株)	—	—	—	—	メーカー純正



◎備 考 最高速度はシャシダイナモメータ上にて確認

排出ガス対策装置は、サクラ工業(株)製“JMCA0790008”を装着し、試験を実施した。(依頼者の申告による)

WMTCモード(タイプ1)試験結果

試験期日 H26.7.23

試験機関名 (一財)日本車両検査協会 東京検査所

◎試験二輪自動車

車名・型式(類別) ヤマハ・EBL-VN04J 原動機型式 N605E 最高出力 38/5500 kW/min 車高クラス 3-2
 車台番号 VN04J-002134 サイクル 4 気筒 2 総排気量 0.941 L
 走行キロ数 84 km 変速機 足動 前進 5 段 減速比 2.333 車両重量 251 kg
 使用燃料 無鉛ガソリン 密度 -- g/cm³ (温度 -- K) 最高速度 140以上 km/h
 等価慣性重量(設定値) 330 kg 駆動輪のタイヤ空気圧 250 kPa

◎試験機器

シャシゲイモータ(DC/DY) 陽光電機 ACU-2 送風機(車速比例型) サワダエンジニアリング M1V24K-R3DIHM

◎排出ガス測定機器

排出ガス分析計 モード測定用 堀場製作所 MEXA-7400
 CVS装置(CFV) 堀場製作所 CVS-7100 (採取量 6.0 m³/min)

◎ソーク記録

ソーク室内温度 (退室前6時間の温度) 最高 298.6 K ~ 最低 296.2 K 潤滑油温度(放置後) 296 K
 ソーク時間 16 時間 (入室 22 日 17 時 00 分 ~ 退室 23 日 9 時 00 分) 冷却水温度(放置後) --- K

◎試験結果

○モード測定

運転開始時刻 9 時 10 分

試験室内乾球温度 297.2 K ~ 297.2 K 湿度補正係数(KH) 1.013
 // 湿球温度 291.8 K ~ 291.8 K 排気管開口部静圧差 --- kPa(50km/h)
 // 相対湿度 60 % 試験室内大気圧 101.5 kPa

希釈率(DF) 26.532 希釈排出ガス量(Vmix) 14697 l/km 走行距離 4.066 km

パート1 (又は低速パート1)	排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-[B×(1-1/DF)]	排出量
低温	CO (NDIR)	112.34 ppm	0.53 ppm	111.83 ppm	1.906 g/km
	HC (FID)	48.74 ppmC	3.23 ppmC	45.64 ppmC	0.387 g/km
	NOx (CLD)	2.42 ppm	0.00 ppm	2.42 ppm	0.068 g/km
	CO ₂ (NDIR)	0.489 %	0.046 %	0.445 %	119.7 g/km

希釈率(DF) 19.689 希釈排出ガス量(Vmix) 6579 l/km 走行距離 9.112 km

パート1 (又は低速パート1、 パート2、低速パート2)	排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-[B×(1-1/DF)]	排出量
高温	CO (NDIR)	67.19 ppm	0.56 ppm	66.66 ppm	0.508 g/km
	HC (FID)	35.23 ppmC	3.18 ppmC	32.22 ppmC	0.122 g/km
	NOx (CLD)	3.66 ppm	0.00 ppm	3.66 ppm	0.046 g/km
	CO ₂ (NDIR)	0.670 %	0.046 %	0.626 %	75.4 g/km

希釈率(DF) 11.106 希釈排出ガス量(Vmix) 3805 l/km 走行距離 15.737 km

パート3 (又は低速パート3)	排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-[B×(1-1/DF)]	排出量
高温	CO (NDIR)	115.69 ppm	0.42 ppm	115.31 ppm	0.508 g/km
	HC (FID)	33.76 ppmC	3.09 ppmC	30.95 ppmC	0.067 g/km
	NOx (CLD)	17.46 ppm	0.00 ppm	17.46 ppm	0.128 g/km
	CO ₂ (NDIR)	1.192 %	0.047 %	1.149 %	80.0 g/km

◎備考

日本船舶振興会
 日本船舶振興会
 日本船舶振興会

WMTCモード(タイプII)試験結果

試験期日 H26.7.23

試験機関名 (一財)日本車両検査協会 東京検査所



◎試験二輪自動車

車名・型式(類別)	ヤマハ・EBL-VN04J	原動機型式	N605E	最高出力	38/5500	kW/min ⁻¹	車両クラス	3-2
車台番号	VN04J-002134	サイクル	4	気筒	2	総排気量	0.941	L
走行キロ数	84	km	変速機	足動 前進 5 段	減速比	2.333	車両重量	251 kg
使用燃料	無鉛ガソリン	密度	—	g/cm ³	(温度 — K)	最高速度	140以上	km/h
等価慣性重量(設定値)	330	kg	駆動輪のタイヤ空気圧	250	kPa			

◎試験機器

シャシ・イテモータ(DC/DY) 陽光電機製 ACU-2

送風機(車速比例型) サワダエンジニアリング製 M1V24K-R3D1HM

◎排出ガス測定機器

排出ガス分析計 アイドリング測定用 堀場製作所 MEXA-7400

CVS装置(CFV) 堀場製作所 CVS-7100 (採取量 ——— m³/min)

◎試験結果

○アイドリング測定

スパークプラグ座温度 ——— K 冷却水温度 ——— K 潤滑油温度 383 K

原動機回転速度 (min ⁻¹)	吸気マニホールド 内圧力(-kPa)	測定濃度値(NDIR)			濃度補正值	
		CO	HC	CO ₂	CO	HC
1000	-----	0.0 %	33 ppm	14.7 %	---	---

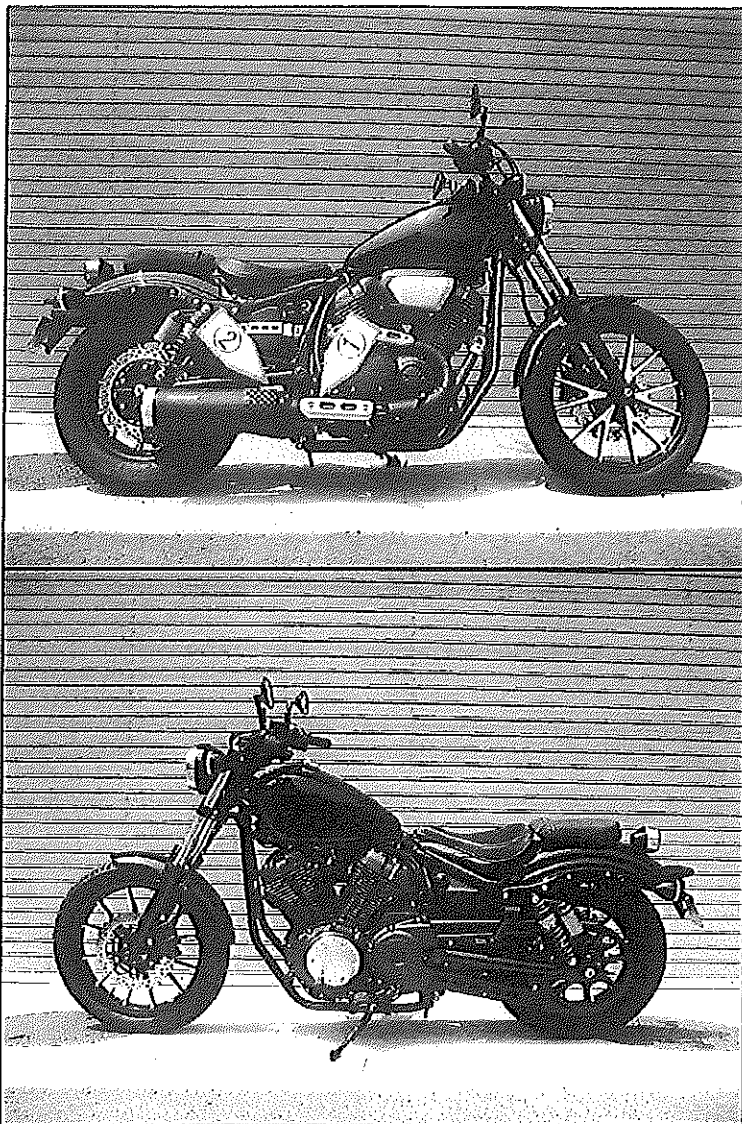


◎備考

試験車両の写真

車名・型式

ヤマハ・EBL-VN04J



- ①: センサー類
- ②: 触媒
- ③: DPF
- ④: EGR
- ⑤: 二次空気
- ⑥: その他

◎備考

(注) 本書(正本)の写しを作成する場合であって、当該写しが正本と相違ないことを証明する必要があるときには、写しにおける本欄に本書(正本)を所有している者が記名および押印するとともに、車台番号を記載して下さい。

この写しは、正本と相違ないことを証明する。

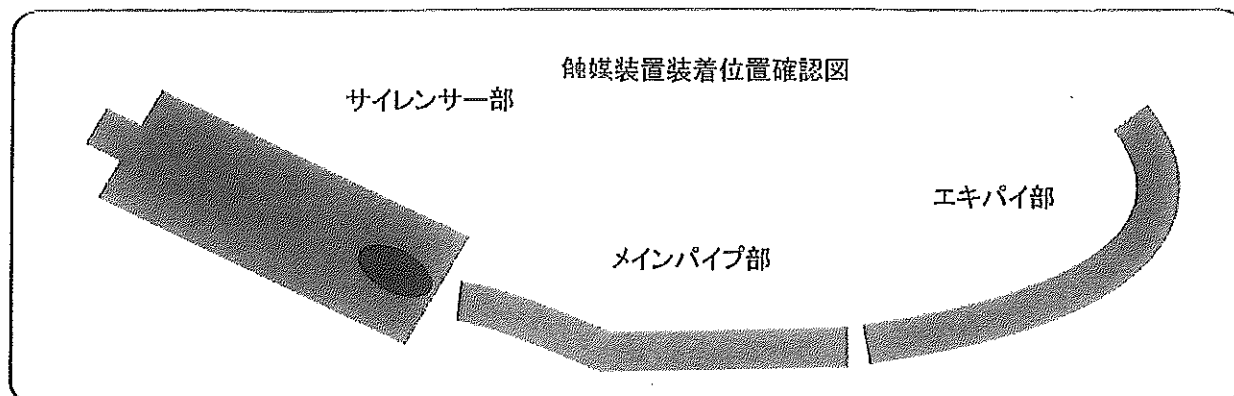
氏名又は名称 **サクラ工業株式会社**
静岡県浜松市東区有玉北町257
TEL 053(434)6008

車台番号 **開発課商品開発係(※)**

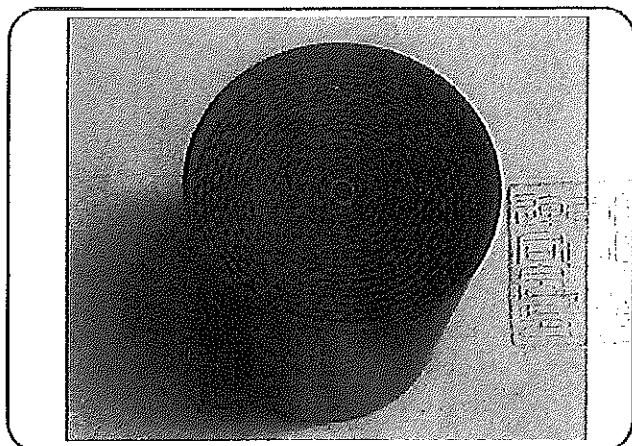
(※:不明な場合には、必要とする自動車が決まった時点で記載する。)

排出ガス対策装置装着状態確認書

自動車車名・型式	ヤマハ EBL-VN04J
排ガス試験成績書番号	H 680306
触媒装置メーカー名	サクラ工業株式会社
触媒装置名称	JMCA0790008
マフラーJMCA認定番号	



触媒装置単体写真



目視による排ガス対策装置の確認方法

触媒の寸法
 外径: $\phi 64$
 長さ: 80

車両装着時写真



一般社団法人
 全国二輪車用品連合会
 〒107-0052
 東京都港区赤坂2-19-5
 TEL03-5545-7220

